

第 17 回小平市水泳協会理事会

議 事 録

2022・1・8

出席者 会長 ○金子 副会長・理事長代行 ○河野
運営本部 ○清水 ○瀬戸口 ○若林 広報 ○土方 普及 ×堀川 ×竹村 競技 ○堀尾
体育協会代表委員 若林 都下水連 堀尾
指導員 ×鈴木（聖） ○水野 ○小島 ○石塚

普及委員会・堀川理事・竹村副委員長は都合により欠席 鈴木（聖）指導員は欠席連絡なし
2021 年度成人シルバー指導員・普及委員会副委員長も出席とする。（運営規定第 2 条③適用）

議 題

A：報告事項

1. 小平市体育協会関係

- 12 月 22 日（水）「第 42 回 新春歩け歩けのつどい」について、ホームページにアップしました。
競技委員会から、権田委員が派遣されます。仲町テラス地点で担当されます。今年は、東回りコースです。
1 月 5 日（水）「第 42 回 新春歩け歩けのつどい」開催直前情報をホームページにアップしました。

Q→「第 42 回新春歩け歩けのつどい」1 月 9 日（日）に開催されます。水協 HP で報告は若林理事ですか？

A→若林理事で対応する。

- 12 月 27 日（月）市報 2 月 20 日号の原稿提出締め切り日変更について連絡有り、同日、関係者各位にメールで連絡済市報 2 月 20 日号の原稿提出締め切り日につきまして、1 週間早い日付に変更する連絡が参りました。
○体育協会加盟団体様から文化スポーツ課への提出締め切り日
変更前… 1 月 14 日（金）
変更後… 1 月 7 日（金）

Q→第 16 回理事会での質問事項である 2022 年度市報原稿締切情報はありますか？

A→1 月 21 日（金）の第 5 回代表委員会で開示の予定です。

2. 東京都水泳協会関係

- 第 3 回東京都水泳協会指導員資格更新研修会が、レポートまたは集合での研修方法で開催されます。

【研修方法について】

※「レポート受講」もしくは「集合受講」かの選択制

①レポート受講 定員 100 名

対象者：コロナ禍の特別措置のため、2023 年 3 月 31 日有効期限までの方のみ

②集合受講 定員 100 名 3 月 6 日（日）開催

会場：城北中学・高等学校

※定員を超えた場合は抽選。

【申込期間】

2022 年 1 月 4 日（火）～1 月 14 日（金）

※要項は「①レポート研修会」「②集合研修会」と 2 つあります。

有効期限を確認し希望する研修会要項を参照して、申込用紙を都水協に送付。

3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

- 2022 年度予算案を各委員会から説明を頂いた。各委員会からの予算案ポイントは以下

〈会議管理部門〉 収入：0 支出：60,284円 支出合計：60,284円

- ① 総会議案書は業者に依頼する。
(今後は経費削減を考えてスリム化を検討したい)
- ② 懇親会は中止とする。
- ③ 欠席者への議案書送付は経費削減のため、手渡しを検討したい。
(コロナの感染状況によっては郵送とする。)
- ④ 今後、欠席への議案書送付は行わず、水協HPへの公開で良いか検討をして頂きたい。

Q→④は2022年度から適用ですか？2023年度総会から検討している。

A→2023年度総会から検討している。

〈市民まつり実行部門〉 収入：40,000円 支出：95,800円 支出合計：55,800円

- ① 行政判断により、開催するなら参加を検討したい。
- ② 今後イベントは経費やコロナの状況によって内容を検討したい。

〈広報委員会〉 収入：0 支出：32,324円 支出合計：32,324円

- ① 水協日より「スイスイ」3回/年発行、アプラス印刷代金も広報委員会で計上。
- ② 水協クイズ3回/年開催、当選者への賞品はクオカードを予定しているが、運営本部保管品での運用可能。
- ③ メディアSDに関しては、使用するか不透明なので、使用する場合は協会備品を貸与していただく。

〈普及委員会〉 収入：0 支出：47,500円 支出合計：47,500円

- ① 4-6月期、9-11月期、1-3月期の3クールでの水泳教室の開催
- ② 2022年度卒業生を50名で想定し卒業記念品予算を計上
- ③ 成人・シルバー用スイミングキャップ20個購入予定

Q→2022年度教室は3カ月教室と決定している。6年生が全ての教室へエントリー出来ない状況で、卒業記念品はどのタイミングで差し上げるのか？対象参加教室は1回でも教室参加したら対象なのか？成人シルバー用のスイミングキャップは2021年度2か月教室開催時の欠員募集時はお持ちのスイミングキャップで対応とした。

議論出来ない教室会員を正会員へのメリットで、会費口座振替や入会金なども含むのであれば検討の余地があるが内容を詳しく説明して頂きたい。

A→委員長・副委員長が欠席の為、②③は継続審議

〈競技委員会〉 収入：284,400円 支出：628,040円 支出合計：343,640円

内訳 記録会収入：49,800円 支出：53,920円 支出合計：4,120円

市民大会収入：234,600円 支出：480,520円 支出合計：245,920円 ※コロナ対策など除く

- ① 開催希望と新型コロナ対策を掲げ、記録会と市民大会の予算計上をします。
- ② 記録会は、参加費を徴収し、競技役員は正会員・教室会員又は団体参加者ボランティアで30名程度の必要最低人数で行う。
午後からの短時間の記録会運用なので無償で競技役員を確保できると考える。
報償費なしで歳出削減に協力したい。
・歳出：機械審判装置のバッテリー(40B19L)6,000円。
- ③ 市民大会は感染対策費を計上し、参加費と報償費は今までの開催時と同額の予算計上です。
・歳出：A4レーザーカラープリンター(キャノンLBP621C)28,000円。

〈都育成事業特別委員会〉 収入：0円 支出：0円 支出合計：0円

- ① 補助金事業の為、水協支出はないが、指導員用マスクを依頼指導員によっては支給して頂きたい。

〈市町村総体特別委員会〉 収入：51,000円 支出：91,485円 支出合計：40,485円

- ① 増額分は功労者表彰報償費
- ② 会場は町田との情報あり。バスを出さないと出場者はごく少数になると予想される。
バスを出すと最大57,300円増加、10万円前後の事業費となる
- ③ 水協の財政状況を考慮すると、今後も参加し続けるのか？疑問もある。
競技参加についてはマスターズに移行していく方針もありではないか？

Q1→4月から新規正会員が加入予定なのでマスターズに移行するの意味は？

A1→市町村総体へ不参加となった場合に、マスターズ関連の競技会を紹介する。

Q2→行政側から参加要請はあるか？

A2→参加要請はない。参加していない市町村もある。

※本件は参加するかも含め継続審議

<マスターズ特別委員会> 収入：0円 支出：10,098円 支出合計：10,098円

①例年通りの大会への参加とした。内容は団体登録料と役務費が中心

②決済を受けていない大会への団体負担金については計上していない。

<運営本部財務関係> 収入：255,000円 支出：167,158円 支出合計：△87,842円

①財務関係は協会運営の固定費となる。体協補助があるのでざっくり10万が固定費となる。

<運営本部財政企画> 収入：0円 支出：182,880円 支出合計：182,880円

①アプラス関係は2021年度修正予算から運営本部普及部分へ移動

②各委員会サポートの消耗品中心

③各委員会の会計への報償費 2000円×7委員会へはカット

※運営本部（普及部分）はゼロベースにする為、協議事項で提出。

※運営本部（普及部分）を除く支出合計：685,169円

※2021年度末積立金残高予想金額：3,106,388円

Q→提出された予算書（普及は2021年と同じとした）を合計すると約90万円の赤字

教室がどの程度の収益となるのか？全体で容認できる赤字額は？

A→運営本部（普及部分）で説明を行います。教室規模がどの程度になるかで違ってきます。

全体で容認できる赤字額については、今後の教室運営や協会運営の方向性を決めて頂かないと

コロナの影響は協会ではコントロール出来ません。清水が教室委員会の10年以上前から協会運営と教室運営について提言をしていたが方向性が見えないままコロナにより急激に協会運営と教室運営のかじ取りをするようになりました。

協会として今後の協会及び教室をどの様にしたいのか将来のビジョンを先に示して頂きたい。

2) 2-3月教室の教室会費振替作業

2022年2月11日（金）9時30分～ 中央公民館学習室2

出席対象：三役 瀬戸口理事 石塚委員 清水運営本部長

→教室会費預り金の返金作業も行う。

→教室会費に関する事なので普及委員会も出席可能であれば出席をお願いします。

3) 教室会員退会及び11月12月教室キャンセルに伴う返金

【退会】 荻野智枝（水曜午前在籍） 2500円（事務手数料は差引なし）

【11月12月教室キャンセル及び退会】

池田太陽（金曜ジュニア） 3100円-300円（事務手数料）=2800円

【2月3月教室キャンセル及び退会】

角田太陽（木曜ジュニア） 1750円（事務手数料は差引なし）

→管理台帳回覧にて確認を行った。

4) 減却申請について

→管理台帳を回覧にて確認を行った。

5) みずほ銀行12月会計報告 12月末残高：1,335,529円

→管理台帳を回覧にて確認を行った。

6) ゆうちょ銀行口座12月会計報告 12月末残高：589,192円

→管理台帳を回覧にて確認を行った。

7) 11月12月報償費源泉徴収を納付

報償費総額 437,677 円に対して、13,823 円を1月7日（金）みずほ銀行口座から納付した。

- 納税は協会口座のみずほ銀行法人扱い支店で窓口支払いであれば通帳に「税金等」と記載が残るのでみずほ銀行立川支店で納税を行った。他の金融機関でも納税は可能であるが、協会口座のみずほ銀行通帳には「納税等」と記載は残らない。
- 領収証書を回覧にて確認を行った。

8) スタッフブログの担当変更

2022年2月 都育成事業特別委員会から鈴木（聖）指導員へ交替とした。

9) 2月3月プール使用料 157,500 円支払い

→本理事会で金子会長へ現金受け渡し済。支払いについてはその他報告事項2) 参照

10) 清水運営本部とのメール連絡について

理事会や指導員全体会議等で依頼していますが、ビジネスメールに近い形で連絡を頂きたい。50~70件/日のメール処理をしていますので、宛先が不明や誰が送信したのか明確でないメールの確認が時間ロスになります。メールは CC や BCC 機能がありますので誰に送信したのか、誰が送信したのかを本文に入れるマナーがあります。水協内のメールは個人的な連絡ツールではありません。協会の立場として受けていますので LINE などの個人的な連絡ツールと一緒に扱いは迷惑メールとして処理させていただきます。

市民まつり実行・会議管理部門 なし

5. 広報委員会

1) 水協クイズ No.9 について

- ・2月1日 HP に公開 応募期間 2/1~2/28 クイズ内容チラシ作成（資料格納しました。）
- ・当選者発表 3月上旬 HP にアップします。ポスター作成して 3F 通路に掲示します。
- ・Mface 水協クイズ No.9 を作成しました。

2) 2月3月追加教室募集ポスター2021.12.28に取り外しました。

6. 普及委員会

1) 2-3月期の欠員募集について

- 成人・シルバー 24名募集あり（抽選落ちなし）
 - ・木曜シルバー申込の方で、抽選落ちの1名の方に水曜午前 成人に移動していただいた
 - ・火曜夜間 成人、金曜夜間・成人に関しては、8名に満たなかった開催中止
 - ※火曜夜間 成人3名の内訳 ①11-12月期の水曜夜間に参加していることが判明し2-3月期も参加予定
 - ②他の教室移動可能か、電話にて案内実施、結果キャンセルとなる
 - ③金曜午前 成人に案内し入会決定
 - ※金曜夜間 成人3名の内訳 全員、移動できる教室がないとのことでキャンセル

- ジュニア 25名募集あり

- 水曜ジュニア 10名申込 → 4名当選
- 木曜ジュニア 7名申込 → 2名当選
- 金曜ジュニア 8名申込 → 2名当選

→本件は金子会長・清水運営本部長で Dropbox 内の名簿最終確認を行う。
その後、清水運営本部長より教室案内や同意書に対するメール連絡を参加者へ行う。

2) 2022年度指導員募集結果 2022年1月5日（水）締切時点での回答結果は以下

未回答指導員：若林・竹村・内木場・榎本・大野・菊地・鈴木（良）・松尾・堀川指導員
指導可能：金子・土方・安部・石塚・岡部・斎藤・鈴木（聖）・水野指導員
指導不可：小島指導員
※菊地指導員からは1月7日（金）回答あり 指導不可
※若林・竹村・堀川指導員は受信メールへ返信となっていたにも関わらず、会長個人メールアドレスへ返信

- ⇒19名依頼をしたが9名がルール通りの返信ではなく未回答は指導が可能か不可能か以前の問題である。
- ⇒現在、金子会長が2022年度指導員体制を調整中。

7. 競技委員会

- 1) 6月5日(日)記録会で第3会議室を確保していたが、体育館よりバトミントン大会が開催されるのでバトミントン大会を優先したい申し入れがあり承諾した。

8. 都育成事業特別委員会 なし

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会 なし

11. その他報告事項

- 1) 第15回理事会残案件

①教室会員カードの管理について

普及委員会保管：成人用104枚 ジュニア用65枚

キャビネット内保管：成人用35枚

2020年1月28日作製のジュニア用400枚

2020年1月18日作製のジュニア用400枚は入会セットと各庶務へ配布した。

入会セット(120枚)はそのままとし、各庶務へ配布品は普及委員会で回収している。

→第15回理事会時点、入会セット以外で95枚を見つけたので途中経過報告を行った。引き続き確認すると報告があったが、引き続き確認報告なし

- ②タッチ板の修理もしくは新規購入の市長宛での要望書を11月27日(土)に文化スポーツ課へ提出した。

Q→回答は何時頂けますか？

A→本理事会で行政側からの回答書で説明を行った。基本的な考えは修理はしない。

⇒本件は金額によっては水協側で修理あるいは購入の方向もある。
業者から見積書にて金額を明確にする。(本件担当/堀尾理事)

- ③小平市のHPの「市民総合体育館」に、下記が掲載されていました。

「市民総合体育館は、照明のLED化工事に伴い、令和4年1月5日(水曜)から1月31日(月曜)

まで、臨時休館します。受付窓口は、午前8時30分から午後5時まで行っています。」

先に体協に、水協HPにプール閉鎖について掲載することについて話したところ、市及び体協が掲載する内容を掲載してくださいと言われていました。

Q→市及び体協が掲載する内容を掲載とはどの資料なのか？

A→清水運営本部長にて水協HPへの公開済

- ④体協決算報告書について

積立金の目的 ⇒ 例えば加盟団体が使用するロッカーの購入等の必要備品購入や、緊急時や臨時の出費に備える。

賛助会費の目的 ⇒ 会の運営に充てるもので、具体的な項目はない。

Q→ロッカー購入等に24,779,673(令和3年3月31日現在)もの金額が必要なのか？

積立金の目的を水協へ指導するのであれば上部団体の体協も使用目的を明確にする必要がある。

また理事会で質問したのは予算額72,785,000円の予算に対して60,028,462円の決算でマイナス12,756,538円にも関わらず200,000円もの積立金を実施している事の回答となっていない。

A→確認中(担当：金子会長)

- 2) 2022年度プール使用料支払いについて、以下で体協と確認を行った

①3カ月毎の申請及び支払い。申請は2か月前、支払いは1か月前。

②プール使用料減免減額は従来を適用とする。

→2021年度2月3月プール使用料は1月8日(土)に金子会長が支払予定

なお、火曜・金曜夜間教室は中止で連絡済。
→プール申請及び使用料支払いのルールは三役対応となっているが会長へ負担が大きい。
今後の対応については普及委員会の協議事項へ

B：協議事項

1. 小平市体育協会関係 なし
2. 東京都水泳協会関係 なし
3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

- 1) 2022 年度 3 カ月教室の会費徴収方法について
水中ウォーキング教室以外は毎月の振替を基本とする。短期教室で移動・休会不可の為、月の回数を 3 回に固定。
ジュニアについては教室初日あるいは入会手続きで別途マンパワーが必要。

⇒2022 年度教室日程案資料にて検討し、以下を修正して承認

①火曜日 6 月分 6/14 21 28 → 5/31 6/14 6/21

理由：都育成事業を 6 月後半で日程確保したい為

⇒会費徴収は毎月の振替を基本とする。

【今後の課題】

- ①欠員募集での入会者の取扱い。口座振替や顧客番号など。
- ②既存会員の正会員へのメリット 会費減額など
- ③2022 年度予算でジュニアについては教室初日に入会手続きが発生するので受付 1 名×3 回で計上した。
4 月に口座振替受付が多数発生すると考えられる。マンパワーの人数配置は検討が必要。
- ④ジュニア入会待機待ち会員と 2022 年度募集のジュニア会員と保護者との面談はどうするのか？

- 2) 第 16 回理事会残案件

- ① 協会 HP のトップページ固定メッセージについて (第 15 回理事会残案件) ⇒継続審議
2022 年度教室案内に変更をしたい。

2022 年 1 月⇒ 2022 年度市民水泳教室及び水中ウォーキング教室日程などは 2 月上旬にお知らせ致します。

2022 年度 4 月入会の募集は〇月〇日発行の小平市報にてお知らせ致します。

2 月⇒2022 年度市民水泳教室及び水中ウォーキング教室日程などが決まりました。

詳細は以下のトピックスからご覧になれます。

- ②2022 年水協 HP のスタッフブログ名称について (第 15 回理事会残案件) ⇒継続審議
2022 年 4 月から教室会員も対象に広げるため、スタッフブログから「ブログ」に名称変更とする。

- ③スタッフブログを教室会員へ展開について⇒継続審議
目的：教室会員へ参画して頂き協会運営に興味を持っていただく
スケジュール：2022 年 2 月教室再開に合わせ広報委員会で作製頂いたチラシ配布及び水協 HP で公開
同時に教室会員へのブログ作成依頼のお手紙配布。
2022 年度引継会議で各指導員へ協力依頼及び各教室会員で教室紹介会員を決めて頂く。

- ④ 指導員用プールマスク

1. 年間の支給枚数について ⇒継続審議
2. 都育成事業が事業中止に伴う支給済の指導員用プールマスクの取扱いについて
⇒担当委員会より以下の報告あり。
松尾指導員は未使用で次年度使用予定。
関口指導員⇒未使用で返却済です。

- 3) 2022 年度予算書 運営本部（普及）部分について

予定している全教室が開催出来ると仮定しての収入合計：5,722,200 円

支出合計（教室運営に係わる報償費・プール使用料・保険・アプラス処理）：3,915,350 円

収入については1教室開催出来ないで教室会費が約10万/教室・報償費で約10万/教室なので1教室開催しないと、約10万の収支残額減となる。

⇒予定している全教室が開催出来るか不透明であるが、次回理事会には金子会長が指導員を調整し2022年度教室規模が確定出来る。

現状では各委員会の予算見積書は記録会と市民水泳競技大会の報償費を上げる方向で見直しを行う。

- 4) 2022年度第1回水中ウォーキング教室市報原稿&2022年度水中ウォーキング教室チラシ
3月20日号に掲載には2月3日が市報原稿提出締切日となる。

⇒市報原稿は結果通知を4月1日(金)に変更で承認

⇒2022年度水中ウォーキング教室チラシは提出資料で承認。

Q1→チラシなどは温水プール入口へ設置可能か？

A1→現在、庶務机が入口へ設置されている。チラシ設置可能か体育館へ確認する。(担当：金子会長)

Q2→対象者を市民水泳競技大会では「在スイミングクラブ」も加えている。

A2→第2回以降で検討とする。

- 5) 2021年度基本方針のPDCAについて ⇒継続審議

基本方針の重要事項について3カ月毎にチェックを行う。

step1→4月～6月 step2→7月～9月 step3→10月～12月 step4→1月～3月

※2022年度総会にて2021年度総括

【step3】10月～12月

2021年度も緊急事態が継続している場合の協会運営(財源)

P(計画)⇒11月から2か月教室が再開する。当初は9月からの教室再開で予算見直しを行ったが実行ベースで予算見直しを行う。

D(実行)⇒11月会計会議で予算見直しを説明し水協HPで公開した。

C(評価)⇒教室運営はゼロベースを基本とした事は、教室会員への負担・協会負担も考慮してギリギリの選択で評価は○

A(改善)⇒ゼロベースでは今後の協会運営は維持できない。適切な教室運営及び協会運営について検討が必要。

2021年度も緊急事態が継続している場合の協会運営(人材・組織)

P(計画)⇒運営方針に基づき理事会にて今後の協会運営(人材・組織)に特化して検討

D(実行)⇒第11回理事会にて「指導員確保」について基本的考え方を明確にした。継続して協議を行う。

C(評価)⇒指導員確保は具体的に展開出来なかったので評価は×とする。

A(改善)⇒指導員については現場の声を参考にする。正会員については提案済の案件を転換する。

税金対応

P(計画)⇒教室再開に伴い報償費支払い対応及び税金対応

D(実行)⇒源泉徴収票発行

C(評価)⇒迅速な対応が出来た。

A(改善)⇒e-Taxも視野に入れる。

- 6) 2022年度教室準備

指導員の確保 ⇒ 金子会長にて調整中

既存教室会員へのアナウンス ⇒ 第19回理事会(2/3)でお手紙など検討し、第20回理事会(2/16)に発送。て。返信締切は2月末とする。お手紙など作製(担当：金子会長 清水運営本部長)

ジュニア入会待機待ち会員への連絡 ⇒ 堀川委員長からのデータ待ち

市報募集(4月5月6月教室)⇒3月5日号に掲載であれば1月26日が募集締切

早急に金子会長が作成して行政側へ提出とする。

指導員引継会議 ⇒ 3月25日(金)19時30分～ 体育館で開催 会場確保は会議管理部門とする。

7) 2021 年度 2 月 3 月 教室 準備

各教室の名簿確定 ⇒ 金子会長及び清水運営本部長にて確認を行う。

参加者への連絡 ⇒ メール登録者へは清水運営本部長から連絡とする。

教室会費振替 ⇒ 現時点でのメール登録者へは清水運営本部長から振替日変更連絡済 振替：2月28日（月）

同意書（Mface）⇒ 以下を修正

①冒頭の文面で「下記の4つの事項へ同意」→「下記の3つの事項へ同意」

②水泳教室の区分で水曜夜間は2021年度教室のは時間帯から成人教室としてあつかっている
ので「夜間」は削除

Q→緊急時の対応マニュアルは教室開催までに指導員や水協HPで開示可能か？

A→作製の資料を体育館側へ提出して回答待ちである。体育館側から回答頂いたら開示する。

市民まつり実行・会議管理部門 なし

5. 広報委員会

1) 水協クイズ No.9 について

・2月1日HPに公開 応募期間2/1～2/28 クイズ内容チラシ作成（資料格納しました。）

⇒提出資料で承認

6. 普及委員会

1) 第16回理事会残案件

①ホームページにて正会員（ボランティアスタッフ）の募集掲載について（第15回理事会残案件）⇒継続審議

2) 2022年度の普及委員会体制について ⇒継続審議

私の仕事の都合（2022年4月～）により、委員会活動に支障が出る可能性があります。

① 委員長代理の擁立

② 実際に指導に入る指導員から委員を擁立

3) 2月3日水曜夜間教室・金曜午前指導員交代

水曜夜間：小島指導員→金子指導員へ

金曜午前：金子指導員→小島指導員へ

⇒提案通り承認

プール用マスクはどちらの教室も在庫枚数は2枚ですので、指導員変更によるプール用マスクの移動はなし

4) 理事会への2021年度指導員出席について 成人シルバー・ジュニア指導員全員が参集しての会議が必要

⇒以下の理事会を対象とする。

第19回理事会 2月3日（木）19時30分～・第20回理事会 2月16日（水）19時30分～

対象指導員へは清水運営本部長からメール連絡とする。

⇒教室が安定するまでは担当指導員も理事会に出席した頂く事が必要。

2回/月を夜間で開催しているが、1回/月は土日の昼間に開催するなど配慮が必要。

5) 2022年度プール利用申請及びプール料金支払いについて ⇒継続審議

現在のルールは三役で対応となっているが、申請だけなら普及委員会等で対応が可能ではないか？

2022年度教室の申請及び支払いは以下となっている。

	申請	支払い
4.5.6月教室 第1回・2回水中ウォーキング教室	2月	3月
9.10.11月教室 第3回・4回水中ウォーキング教室	7月	8月
1.2.3月教室 第5回水中ウォーキング教室	11月	12月

7. 競技委員会

1) 記録会、市民大会での参加費の支払いにPaypalを利用しては？手数料無料で金額指定可能（河野副会長提案）

1/4電話にて問い合わせました。人格なき社団でもビジネスアカウント作成可能

競技委員会ホルダーに収納のメールを参照（印刷配布は致しません）

手数料：決済金額の3.6%+40円、又は5%+7円（少額決済を選択すると全てこれで

300円の場合51円か22円、1,000円の場合76円か57円

⇒競技委員会で検討する。

【競技委員会から、現時点での回答は以下】

Paypalへお問い合わせいただきありがとうございます。ドロップボックス格納資料を拝見いたしました。Mface、PaypalのIT活用は参加者、競技委員お互いの負担軽減になり水協の将来を考えると今後導入していきたいと考えます。コロナ禍においても有用です。導入のために競技委員長が学習することが多々あると思います。副会長にご教示いただきながら競技委員会で検討させていただきます。

8. 都育成事業特別委員会

1) 第16回理事会残案件

① 第12回理事会残案件 スタッフブログへの対応についての提案 ⇒継続審議

2021年9月以降のスタッフブログについて（第11回理事会より継続案件）

2022年2月担当の都育成事業特別委員会担当者よりSDカードを郵送する時に担当不可の連絡があった。

都育成事業内で担当者を決めて次回理事会にて報告と第11回理事会で決まった。

【第11回理事会決定事項】

スタッフブログは、各担当委員会の輪番制や、教室会員へ展開する為に、教室に入る指導員には担当するなど、理事会でルールを決めている事である。

ルールを変えるのであるのであれば提案をして頂きたい。

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

1) 第16回理事会残案件

① エントリー時に必要な個人参加費のほか、チーム参加費が必要となっている。

2022年度から、水協会計から負担していただきたい。

一大会1,000円が多く、年間5大会、5,000円を計上したい。

⇒チーム参加費については2022年度予算案に計上で承認。水協ポロシャツなどは継続審議

Q→水協として団体登録料は負担している。今までも各大会に参加している場合にチームエントリー料が発生しているのであれば、その負担は個人負担ですか？

過去の参加状況を確認すると少ないと3名程度で多くても7~8名程度である。

マスターズ登録者が小平市水泳協会の人材確保及び協会運営にも繋がる事を意識してマスターズ特別委員会が運営するのであれば、各大会の参加費負担も高額とは思えない。

しかし、デガネには厳しくチェックして頂きたい。

例えば、マスターズは黄色のTシャツを着て参加しているが、伴さんはキャラクター入りのポロシャツを現金購入している。小柴さんへは無料支給済。黄色Tシャツは貸与であればクリーニング代もその都度発生する。キャラクター入りポロシャツで統一して頂きたい。新規加入の方には購入をお願いしたい。

また大会ごとに協会旗を持参やブログへの協力など協会運営への協力体制も不可欠である。

A→黄色のTシャツは、ポロシャツを作成した段階で、マスターズ委員会が預かっていて大会で着用している。

正会員には貸与していて、各自管理している。都民生涯スポーツ大会時のみ、一般市民からの参加者には当日回収してクリーニングしている。今後もこのスタンスで行いたい。

マスターズ大会に参加するために入会した今回の4名の正会員へのポロシャツの購入については、入会目的から購入していただくことは、適切でないと思われる。

⇒期限を決めてポロシャツへの移行を推進して頂きたい。協会旗の持参やブログ協力への発言も頂きたい。

11. その他協議事項

1) 第16回理事会残案件

1. ジュニア教室会員（6年生）への意向調査や2022年度市報募集などの準備も平行して必要

⇒ジュニア教室（6年生）意向調査は清水運営本部長がハガキにて調査を準備中

⇒2022年度市報募集は運営本部／協議事項参照

2. 指導員確保について（第 11 回理事会残案件）⇒**継続審議**

【第 11 回理事会決定事項及び意見要望】

意見要望を収集し以下の①②がハードルを高くしている原因である。
今後は①②とも必要条件としない。詳細は継続審議とする。

- ①指導員資格 ②正会員

3. 2021 年度理事会には以下日程で指導員へ出席要請を行うので、普及委員会からのお聞きしたいテーマは事前にお知らせする。⇒**継続審議**

※次回以降の理事会は以下で出席要請となっている。

普及委員会からお聞きしたいテーマを配信して頂きたい。

※競技委員会/権田委員からの回答を頂いていない。

第 16 回理事会（12/16）⇒ 2021 年度ジュニア指導員

第 17 回理事会（1/6）⇒2021 年度成人シルバー指導員

第 18 回理事会（1/20）⇒会計担当・監事

第 19 回理事会（2/3）⇒広報委員会/中村委員 競技委員会/鈴木（良）委員

第 20 回理事会（2/17）⇒2021 年度成人シルバー指導員

第 21 回理事会（3/3）⇒2021 年度ジュニア指導員

第 22 回理事会（3/17）⇒広報委員会/中條委員 競技委員会/鈴木（良）委員

第 23 回理事会（4/7）⇒監事

→市町村特別委員会の水野昌子委員は、出席不可。

4. 河野副会長提案について ⇒**継続審議**

第 11 回理事会から「指導員の確保」をテーマとして継続審議している。正会員の年齢構成から短期・中期・長期で協会・教室運営のあるべき姿を明確にする必要がある。

短期⇒協会：現在の委員、協力員で運営出来る体制の維持

教室：現在の指導員で運営出来る体制、方法を構築する

教室会員数（1 レーン、1 教室）、指導員体制、庶務員の有無等

中期⇒協会：委員会を超えた協力体制の確立

正会員を増やす仕組みを考える、何故正会員が増えないのか？原因を考えて対策をする

教室：外部指導員を誘致する方法を確立する、どこに働きかけるのか？

外部指導員の評価法、定着してもらうには何が必要か？

長期⇒協会：効率的な運営方法の構築、少人数での事業運営（記録会、市民大会）

教室：効率的な運営方法の構築

IT 化を 100%にする、ネット、メールでの事務処理が必要

※短期である正会員になって頂く短期目標について具体的な展開が必要の為、協議頂きたい。

正会員になって頂く事を最優先にし、教室会員が正会員になるメリットを明確にする。

- ①入会優先 ②会費の割引 ③個人への情報提供

【清水運営本部長からの提案事項】

提案は賛成ですが、今回の 2 月 3 月欠員募集の事務処理をして、提案を展開するには以下は必須と感じます。

①顧客番号 ⇒ 検索がしやすくなる。

②教室会費など振替口座登録 ⇒教室会員が振込にいかなくても処理できる。

③メールアドレスの登録 ⇒ 連絡手段の迅速化と効率化

5. 河野副会長不在の理事会議長について

現行ルールは理事長不在時、三役となっているので金子会長となる。

不在期間を明確にして頂きたい。

⇒第 18 回（1/20）、第 20 回（2/16）、第 21 回（3/3）、第 22 回（3/17）

2) 第 22 回理事会日程変更

⇒ 3月 17 日 (木) から 3月 14 日 (月) へ変更

当日は競技委員会/鈴木 (良) 委員が出席対象の為、清水運営本部長から関係者も含め日程変更連絡を行う。

次回理事会 1 月 20 日 (木) 19 時 30 分～ 中央公民館学習室 4

2022 年度予算案検討の為、各委員会の会計担当及び監事・普及委員会/竹村副委員長も出席対象